

R7 年度 学校教育自己診断アンケートの結果分析

昨年度実施した学校教育自己診断アンケートの結果と今年度の結果を比較し分析する。
各質問での「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答の合計結果の今年度%と昨年度[%]
は以下のとおりである。

【生徒】

- 「学校へ行くのが楽しい」 81% [86%]
- 「学校生活についての先生の指導は納得できる」 77% [81%]
- 「将来の進路や生き方について考える機会がある」 96% [94%]
- 「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」 90% [90%]
- 「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」 76% [73%]
- 「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」 91% [91%]
- 「体育祭（文化祭・修学旅行）は楽しく行えるよう工夫されている」 体育祭 91% [91%]
文化祭 90% [92%] 修学旅行 85% [87%]
- 「学校は生徒 1 人 1 台端末を効果的に活用している」 89% [87%]

【保護者】

- 「学校に行くのを楽しみにしている」 88% [88%]
- 「授業がわかりやすく楽しいと言っている」 76% [73%]
- 「学校の生徒指導の方針に共感できる」 87% [89%]
- 「将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」 95% [94%]
- 「いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」 87% [88%]
- 「子どもの生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている」 96% [94%]
- 「教育情報について、提供の努力をしている」 93% [94%]
- 「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」 90% [86%]

【教職員】

- 「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」 95% [97%]
- 「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている」 82% [85%]
- 「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」 86% [79%]
- 「生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている」 96% [95%]

「いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている」 86% [89%]

「教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる」 88% [94%]

「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている」 96% [97%]

「教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている」 92% [97%]

今年度のアンケート結果について、生徒・保護者の評価はほとんどの項目で昨年 同様の評価になった。高い評価になっているのは本校の教育活動に対し教職員が 昨年度の結果を踏まえ今年度の教育活動を改善し実践したことに対する肯定的な評価であると考ええる。

生徒では「将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の評価が高い数値になっており進路指導の充実を生徒自身も実感してくれていることが分かる。「学校は生徒 1 人 1 台端末を効果的に活用している」も微増ながら上昇していると同時に 90%にも届きそうな数値(89%)になってきた。これは 1 人 1 台端末に対して生徒自身も慣れてきただけでなく、教員側も端末の活用に対する知識や工夫が増えてきた結果だと考える。こういう部分にも昨年度より始まった教員間の 相互授業見学が機能し学校全体の教育活動がより充実してきた結果だと考える。

保護者では「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」が 90%となり前年より微増ながら増加している。連絡ツールや SNS を使った保護者への連絡 が徹底された結果ではないかと考える。 教職員では「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」86% と 7 ポイント上昇している。教育相談や支援教育などを通して生徒情報を共有する会議を定期的に行い、リモート授業も含めて生徒一人ひとりの実態や状況に合わせて個別最適な学びに少しでも近づこうと団結している結果と考える。

来年度はポイントをより上昇することを目標に教職員の連携を密にして教育活動を行っていきたい。